

# 带状疱疹ワクチンについてのご案内

当院では带状疱疹のワクチンの接種が可能です(予約制)

## 【50歳以上の方へ】

### ◆带状疱疹とは

体の片側の一部にピリピリとした痛みが現れ、その部分に水ぶくれを伴う赤い発疹が出現する病気です。水ぼうそう(水痘)に罹ると治った後もそのウイルスが体の中に潜んでいて、免疫力が落ちた時に発症します。日本人成人の90%以上が带状疱疹になる可能性があり、80歳までに3人に1人が発症すると言われております。特に50歳代から発症しやすくなります。

带状疱疹が頭部、顔面に出ると、目や耳の神経が障害され、めまい、耳鳴りなどの合併症、重症化すると視力低下や顔面神経痛など重い後遺症が残ることがあります。また带状疱疹が治った後も長期に痛みが残ることがあり、**带状疱疹後神経痛(PHN)**とされています。50歳以上で带状疱疹になった場合、約2割がこのPHNになるとされています。

### ◆带状疱疹の予防(ワクチン)

带状疱疹を予防するワクチンが2種類あり、各々長所と短所があります。

当院ではシングリックスを推奨していますが、水痘ワクチン【ビケン】の接種も可能です。

シングリックスは2ヶ月間隔で筋肉内に2回接種しますが、2回目の接種が2ヶ月を超えた場合であっても、遅くとも1回目から6ヶ月後までに接種する必要があります。

シングリックスの带状疱疹に対する予防効果は、50歳以上の方で約97%、70歳以上の方で約90%と報告されており、水痘ワクチンよりも有効性が高いと考えられます。

また、水痘ワクチンは生ワクチンのため、他のワクチンを接種する場合は27日以上あける必要がありますが、シングリックスは不活化ワクチンのため、他のワクチンを同時に接種することができ、免疫抑制をきたす治療を受けている方などでも接種が可能です。

シングリックスを注射すると体の中で強い免疫を作ろうとする仕組みが働くため、

**多くの方に注射部位の痛みや腫れが現れますが、副反応の多くは3日以内に治ります。**

シングリックスは2回の接種が必要で、水痘ワクチンと比較すると接種費用が高額となりますが、高い带状疱疹予防効果が示されており、带状疱疹後神経痛(PHN)の発症を減らす効果も期待できます。

## ◆弱毒性水痘ワクチン【ビケン】と【シングリックス】の違い

	弱毒性水痘ワクチン【ビケン】	【シングリックス】
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回(皮下注射)	2回(筋肉注射)2ヶ月後に2回目 遅くとも6ヶ月後までに接種
予防効果	50~60%	50歳以上 約97% 70歳以上 約90%
持続時間	5年程度	10年程度
副反応	接種部位の痛み 腫れ、発赤 3日~1週間で消失	<b>接種部位の痛み、腫れ、</b> 発赤、筋肉痛、全身倦怠感 3日~1週間で消失
料金	8,800円	1回22,000円を2回接種
長所	・1回で済む ・値段が安い ・副反応が弱い	・免疫が低下している方にも接種できる ・予防効果が高い ・持続期間が長い
短所	・免疫が低下している方には接種できない ・持続時間が短い (5年を超えると50%有効性が低下する)	・痛い ・2回接種が必要 ・値段が高い
備考		・3回目以降の接種の必要性や有効性については明らかではない

## ◆ご予約について

予約可能日：平日 14:30~16:30

土曜 10:00~11:30

※木曜日・日曜日・祝日・土曜午後は休診日です。

- ・ご予約日は最短1週間後から可能です。
- ・受診時またはお電話(042-401-1955)にてご予約可能です。
- ・ワクチンの詳細につきましては当院ホームページをご覧ください→  
ホームページから予診票のダウンロードも可能です。

